

平成30年度事業計画

(期日：平成30年4月1日～平成31年3月31日)

平成30年3月24日(土)

公益財団法人 日本レスリング協会

平成30年度事業計画

「方針」

公益財団法人日本レスリング協会の定款に定める目的を達成するため、以下の諸事業を実施する。特に、2020年東京オリンピック大会に向けては、国民の皆様の期待に応えるため、金を含む10個のメダル獲得を目指すこととする。このため、協会関係者が一丸となり「選手強化」を主軸とした運営を図っていく。また、本年度は次の目標を掲げ、日本レスリングの伝統を継承していきたい。

「目標」

1. 2018年シニア世界レスリング選手権大会（男女）での金メダル獲得。
2. 第18回アジア競技大会<2018/ジャカルタ>（男女）での金メダル獲得。
3. 2020年東京オリンピック大会向けのシニア・ジュニア選手（ターゲット選手）の強化育成と一貫指導体制の確立。
4. レスリング界における暴力行為等及びハラスメントの根絶とコンプライアンスの遵守。
5. 日本レスリング協会アンチ・ドーピング規定の遵守。
6. レスリング競技における安全管理体制（重大事故防止策）の確立。
7. 選手育成に向けての公認スポーツ指導者（レスリング指導者）の養成と推進。

1. 選手の育成・強化を図る事業

(1) 国際大会に選手団を派遣する。

【シニア選手団派遣事業】

- ① 2018年シニア世界選手権大会（ハンガリー／ブタベスト）において金メダル獲得を目指す。（フリー・グレコ・女子）
- ② 第18回アジア競技大会（インドネシア／ジャカルタ）において金メダル獲得を目指す。（フリー・グレコ・女子）
- ③ 2018年フリースタイルワールドカップ大会（米国・アイオワ）において団体上位入賞を目指す。（フリー）
- ④ U-23世界選手権大会（ルーマニア／ブカレスト）において金メダル獲得を目指す。（フリー・グレコ・女子）
- ⑤ 世界学生選手権大会（ブラジル／ゴイアナ）において金メダル獲得を目指す。（フリー・グレコ・女子）

<国際大会>

- ① ヤリギン国際大会（ロシア／クラスノヤルスク）
- ② タクティカップ国際大会（イラン）
- ③ セルビア国際大会（セルビア）
- ④ ロシア国際大会（ロシア）
- ⑤ クリッパンレディースオープン大会（スウェーデン／クリッパン）
- ⑥ ビルファーレル国際大会（米国／ニューヨーク）
- ⑦ ニコラペトルフ・イリエフ国際大会（ブルガリア／ソフィア）
- ⑧ トルコ国際大会（トルコ）
- ⑨ 中国オープン国際大会（中国／北京）

【ジュニア・カデット選手団派遣事業】

- ① ユースオリンピック競技大会（アルゼンチン／ブエノスアイレス）において金メダル獲得を目指す。（フリー・グレコ・女子）

- ② 2018年ジュニア世界選手権大会（スロバキア／トルナヴァ）に選手を派遣し、メダルの獲得と上位入賞を目指す。（フリー・グレコ・女子）
- ③ 2018年ジュニアアジア選手権大会（インド／ニューデリー）に選手を派遣し、メダルの獲得と上位入賞を目指す。（フリー・グレコ・女子）
- ④ 2018年カデット世界選手権大会（クロアチア／ザグレブ）に選手を派遣し、メダルの獲得と上位入賞を目指す。（フリー・グレコ・女子）
- ⑤ 2018年カデットアジア選手権大会（ウズベキスタン／タシケント）に選手を派遣し、メダルの獲得と上位入賞を目指す。（フリー・グレコ・女子）

【ベテランズ大会派遣事業】

2018年ベテランズ世界選手権大会（F・スロバキア／トルナヴァ）（G・ロシア／テルミ）に選手を派遣し、メダルの獲得と上位入賞を目指すとともに国際交流を推進する。

【その他の格闘競技大会派遣事業】

- ① 第18回アジア競技大会（インドネシア／ジャカルタ）において金メダル獲得を目指す。（サンボ・クラッシュ・ブンチャックシラット）
- ② 2018年世界グラップリング選手権大会（調整中）に選手を派遣する。
- ③ 2018年世界パンクラチオン選手権大会（調整中）に選手を派遣する。
- ④ 2018年世界ジュニアクラッシュ選手権大会（調整中）に選手を派遣する。

（2）国際事業の実施

海外のチームを招待し、合同強化合宿を実施し競技力の向上を図る。

- ① ポーランドチーム（女子）との合同強化合宿（高岡市）
- ② オーストリア・ドイツナショナルチーム（フリー）との合同強化

（3）選手強化合宿事業を実施し、競技力の向上を図る。

- ① ナショナルチームの国内強化合宿

世界選手権大会・アジア競技大会及び国際大会等の日本代表選手の強化を図るため、

国内強化合宿を実施する。(男子フリー22回・グレコ18回・女子13回)

併せて、2020年東京オリンピック大会の対策ターゲットエイジの強化合宿を実施する。

② ナショナルチームの海外強化合宿

ア. グレコ海外遠征(韓国・ハンガリー)海外合宿を実施する。

イ. フリー海外遠征(韓国・ジョージア・米国・ロシア)海外合宿を実施する。

ウ. 女子ジュニア・カデット海外遠征(スウェーデン)海外合宿を実施する。

エ. 世界選手権大会帯同合宿ターゲットエイジ育成(ハンガリー)に参加する。

オ. 東日本学生連盟海外遠征(韓国)海外合宿を実施する。

カ. 西日本学生連盟海外強化遠征(ブルガリア)に参加する。

(4) 学生連盟及びジュニア・カデット選手の強化合宿事業を実施し競技力の向上を図る。

① 大学生の国際競技力強化のための学連合同強化合宿の実施

② 東日本学生連盟研修合宿

③ 西日本学生連盟研修合宿

④ NTSブロック研修会の開催(中学生も含む)

⑤ NTS中央研修会の開催(男女)

⑥ 高校生(女子)強化合宿の実施

⑦ 中学生(男女)強化合宿の実施

⑧ 少年少女エリート強化合宿の実施

⑨ 少年少女スプリングキャンプの実施

(5) JOC委託事業のナショナルコーチ等並びに専任コーチングディレクターを配置し、

トップレベルの選手並びにターゲット選手・エリートアカデミー選手の強化育成を図る。

① ナショナルコーチ

ア. 栄 和 人 (強化本部長)

イ. 西 口 茂 樹 (強化副本部長)

② アシスタントナショナルコーチ

- ア. 笹本 睦 (グレコローマンスタイルコーチ)
- イ. 前田 翔吾 (フリースタイルコーチ)
- ウ. 藤川 健治 (総務)

③ 専任コーチングディレクター トップ (2名)

- ア. 木名瀬 重夫 (女子レスリングコーチ)
- イ. 江藤 正基 (JOC エリートアカデミーコーチ)

④ 専任コーチングディレクター ジュニア強化コーチ (3名)

- ア. 小幡 邦彦 (中央担当コーチ)
- イ. 藤波 俊一 (ブロック担当コーチ)
- ウ. 吉村 祥子 (女子担当コーチ)

⑤ 専任情報・科学スタッフ (1名)

- ア. 斎藤 修 (審判長)

⑥ NTC専任コーチ (1名)

- ア. 藤山 光太郎

(6) ターゲットエイジ育成強化事業 (2024年を目指す事業)

ターゲットエイジ育成強化事業を実施し、カデット及びジュニア選手の強化育成を図り、2024年のオリンピック大会とその後に向けて、永続的に育成強化システム構築事業を目指す。

(7) JOCスポーツ指導者海外研修員の派遣

スポーツ指導者海外研修員として海外に派遣し、海外の選手強化対策等について調査研究し将来の我が国のレスリング界を担う指導者として育成する。

☆ 平成30年度 該当者なし。

(8) 海外研さん活動の実施

JOCより認定された特別強化指定選手及びその指導者を海外に派遣し、国際競技力の向上を図る。

(9) 海外情報収集等のための派遣

- ① 世界レスリング連合（UWW）の主催するコーチクリニックに強化コーチ及び審判クリニックに国際審判員と関係者を派遣する。
- ② 海外情報収集のためヨーロッパ選手権大会等に映像の撮影及び分析のため情報収集員（強化コーチ）を派遣する。

(10) 世界レスリング連合の主催する大会への帯同審判員の派遣

世界選手権大会・アジア競技大会・アジア選手権大会及び国際大会等に帯同審判員を派遣し、審判員の技術向上を図る。

(11) JOC能力育成教育

特別強化指定選手であった選手の中から、教育機関に入学等を予定している者を対象として、将来に向けて職業や実生活に必要な知識や能力を育成する。

- ① 高橋 侑希（ALSOK）筑波大学院
- ② 高谷 惣亮（ALSOK）筑波大学院

(12) JOCエリートアカデミー

優れた素質を有する選手を強化育成し、将来オリンピック競技大会を始め、国際大会等で活躍できる選手を育成する。

平成30年度JOCエリートアカデミー生

☆ 男子5名・女子3名 計8名

(13) JOC国際人養成アカデミー

国際スポーツ組織との関係強化並びに人材育成の一環として、組織、人などにおける「国際人」を養成し、将来協会を代表し、国際的に活躍できる人材を育成する。

(14) ハイパフォーマンス・サポート事業

オリンピック競技大会を目指すトップレベル選手に対し、多方面から専門的かつ高度な支援を受けて実施する。このため、スポーツ庁から委託された JISS と連携を密にして支援体制の確立を図る。

☆ 支援内容

- ①. フィットネストレーニング
- ②. 栄養
- ③. 心理
- ④. ケア
- ⑤. 映像の撮影及び分析
- ⑥. 生理・生化学
- ⑦. バイオメカニクス

2. レスリングの普及・発展のための事業を実施する。

(1) 協会主催大会事業

- | | |
|--------------------------------|---------------|
| ① 天皇杯全日本レスリング選手権大会 | 駒沢体育館 |
| ② 明治杯全日本選抜レスリング選手権大会 | 駒沢体育館 |
| ③ 第73回国民体育大会レスリング競技会（少年・成年・女子） | おおい町総合運動公園体育館 |
| ④ JOC杯ジュニア全日本レスリング選手権大会 | 横浜市文化体育館 |
| ⑤ 内閣総理大臣杯 全日本大学レスリング選手権大会 | 調整中 |
| ⑥ ジュニアクイーンズカップレスリング選手権大会 | 津市サオリーナ |
| ⑦ 風間杯全国高等学校選抜レスリング大会 | 新潟市体育館 |
| ⑧ 全国高校生グレコローマンスタイルレスリング選手権大会 | 大阪府金岡公園体育館 |
| ⑨ 沼尻杯全国中学校レスリング選手権大会 | 水戸市立水府体育館 |
| ⑩ 全国少年少女レスリング選手権大会 | 大阪市舞洲アリーナ |
| ⑪ インターハイ（女子レスリングの部） | メッセウイングみえ |
| ⑫ ビーチレスリング沖縄大会 | 沖縄県豊崎美らSANビーチ |
| ⑬ ビーチレスリング大洗大会 | 茨城県大洗サンビーチ |

(2) 各傘下連盟主催大会事業

- | | |
|---------------------------|---------------|
| ① 東日本学生リーグ戦 | 駒沢体育館 |
| ② 西日本学生春季リーグ戦 | 大阪府金岡公園体育館 |
| ③ 東日本春季新人戦 東日本春季選手権大会 | 駒沢体育館 |
| ④ 東日本学生女子レスリング選手権大会 | 駒沢体育館 |
| ⑤ 第66回全日本社会人レスリング選手権大会 | 和光市総合体育館 |
| ⑥ 西日本学生新人戦 | 大阪府金岡公園体育館 |
| ⑦ 高校総体インターハイ | メッセウイングみえ |
| ⑧ 全日本学生レスリング選手権大会 | 駒沢体育館 |
| ⑨ 第13回全日本女子オープン選手権大会 | 三島市体育館 |
| ⑩ 全日本学生グレコローマン選手権大会 | 駒沢体育館 |
| ⑪ 西日本学生レスリング選手権大会 | 大阪府金岡公園体育館 |
| ⑫ 第35回全国社会人オープンレスリング選手権大会 | 埼玉県富士見市総合体育館 |
| ⑬ 全国中学生選抜レスリング選手権大会 | 駒沢体育館 |
| ⑭ 西日本学生秋季リーグ戦 | 大阪府金岡公園体育館 |
| ⑮ 東日本秋季新人戦 東日本秋季選手権大会 | 駒沢体育館 |
| ⑯ 全日本マスターズレスリング選手権大会 | オリンピック青少年センター |
| ⑰ 第23回全国少年少女選抜レスリング選手権大会 | 板橋区体育館 |

(3) 国際交流の実施 (ジュニア)

- | | |
|----------------|-------------|
| ① 日米高校交流 | (米国遠征・国内受入) |
| ② 日韓ジュニアスポーツ交流 | (韓国遠征・国内受入) |
| ③ 日韓中学生交流 | (韓国遠征) |

(4) 指導者講習会 (公認スポーツ指導者資格)

公認レスリング指導者及び公認レスリングコーチの講習会を実施し、地域スポーツクラブ等において、初心者や子供達を対象にレスリング競技の基礎的実技指導にあたる指導者を養成する。併せて、国民体育大会における監督へ公認指導員の資格を習得させる。

(5) ホームページによる主要大会の動画及びデータベース構築の充実

日本のトップレベルの試合（国内外）の映像を全国のレスリング選手・指導者・ファン関係者への提供により、レスリングの強化と普及を推進する。また、本協会の記録を、報道を含めてだれもが簡単に検索できるよう、データベース構築の充実を図る。

(6) 2020年東京オリンピック大会レスリング競技会支援事業

東京オリンピック大会に向けては、組織委員会にレスリング競技における「スポーツマネージャー」を協会から派遣し、同委員会及び世界連合（UWW）と緊密に連携を取り、円滑な競技運営等の業務活動を積極的に行う。

- ① スポーツマネージャー 藤 森 安 一
- ② サービスマネージャー 橋 本 篤 史（予定）
- ③ テクニカルオペレーションマネージャー （調整中）

3. その他定款の目的・事業を達成するために次の事業を実施する。

- (1) レスリング指導者における体罰・暴力行為等及びハラスメントの防止対策に向けての、徹底した指導を強化する。
- (2) レスリング競技における安全管理体制の講習会を実施し、重大事故防止の指導を強化する。
- (3) アンチ・ドーピング教育啓発活動の推進を図る。
- (4) ナショナルトレーニングシステム（NTS）事業の実施に向けては、各ブロック研修及び中央研修会においては、一貫指導体制の充実を図る。
- (5) 国際ルールの改正に伴い、審判講習会を積極的に実施し、審判技術の一層の向上を図る。
- (6) 選手強化のため、味の素ナショナルトレーニングセンター及び十日町市桜花レスリング道場の強化拠点施設を有効使用する。
- (7) 日本オリンピック委員会（JOC）のスポーツ環境専門部会に参加し、環境保全活動を積極的に推進して行く。
- (8) レスリング競技の普及・発展のため、広報活動を積極的に実施する。